

# 安全・安心に生活できる街へ

## 見えない横断歩道や停止線の引き直しを県へ要望



土木センターへの要望の中で届けられていた、見えなくなった道路の横断歩道や停止線の引き直し・河川の管理等、県の所管となるものについて、7月15日に熊本県へ要望しました。



### 横断歩道新設は状況で判断

横断歩道の新設は、北区・楠バス通りでは、設置の方向で引き続き調査をしていく。中央区・京町柳川バス停近くは、かえって危険となるために設置はしない。など、それぞれの状況を見て判断されます。

### 県職住宅内のカラスの巣撤去が実現

琴平2丁目の県職員南熊本住宅内の木に、カラスが巣をかけていました。近隣住民から撤去の要望がありました。要望後、すぐに対応され、撤去が完了しました。

### 横断歩道・停止線の引き直しは、年度内完了で対応

各地域から寄せられていた、すり減って見えなくなっている横断歩道・停止線の引き直しは、すでに対応済み、もしくは年度内に完了する予定で取り

組むとの回答がありました。毎年、たくさんの要望が寄せられますが、山本伸裕県議が県議会でも取り上げ、予算が拡充されました。

### 子飼交差点信号機の時間が改善されました

「子飼スクランブル交差点の歩行者信号が短く、高齢者などが渡り切れない」との要望がありました。

調査の結果、基準時間より短いことが判明し、7月1日から改善されました。

【控室から】  
幼い命へ手渡すもの  
上野 みえこ

あまりにも早かった梅雨明けでしたが、「戻り梅雨」で、7月に入り雨の日が続いています。場所によっては線状降水帯が発生し、被害の出るような大雨を降らせています。以前はなかったような気象の異変が日常的に起こっている昨今です。

そして、世界もまた、地球の温度が上昇し、大規模な山火事・洪水・干ばつなどに見舞われています。

しんぶん赤旗は、「国連の世界気象機関とEUのコーピング・ニクス気候変動サーブिसによると、6月の世界の平均気温は平均値（1991～2020年の平均）より0.32度高く、199年、20年に次いで3番目に高くなった」と、1面で報道しました。人類は、緊急に気候危機への対応を迫られています。

日本共産党は、「気候危機打開2030戦略」を公表し、大規模な省エネ・再エネをすすめる脱炭素社会の実現を提案しています。長年にわたり、環境を顧みず、開発優先ですすめてきた社会・経済のあり方が問われていくと思います。

6月に孫が1人増えました。かけがえのない地球を次世代へと手渡していく、それは新たに生まれた幼い命への、私たち大人の果たす責任だと思っています。

**日本共産党**  
**熊本市議会だより**

NO. 1285  
2022年7月24日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

熊本市中央区手取本町1-1 メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
発行: 日本共産党熊本市議団HP: 共産党 熊本市議団

検索



# 「先生が足りない!」、現場から悲鳴

## 年休は取れず、減らない時間外勤務

### 目標値に程遠い「時間外勤務」・「年休取得」

熊本市の「教職員の時間創造プログラム」の2021年度実績が報告されました。「3つの目標値」と「当面の目標」がありますが、どれも達成には程遠い状況です。(目標の達成は、2023年度末を予定)

#### 【3つの目標】

(1) 1カ月45時間以上の時間外勤務の教職員 0人

↓

2021年度実績 2,294人

(2) 年間360時間以上の時間外勤務の教職員 0人

↓

2021年度実績 2,167人

(3) 1年間の年休取得日数

1人・16日以上

↓

2021年度実績 12.2日

#### 【当面の目標】

・1カ月80時間以上の時間外勤務の教職員 0人

↓

2021年度実績 285人

なかなか到達しない目標値に対し、当面、急いで達成する目標として定められているのが「当面の目標」です。しかし、そこにも届いていません。

### 悩ましい現場の教職員欠員

#### <小学校>

小学校92校のうち、26校に29人の欠員があります。定数に対する配置不足が17校に19人、加えて休暇に伴う不足が10校で、10人です。

#### <中学校>

中学校42校のうち、7校に

7人の欠員があります。定数への配置不足が5校・5人、休暇に伴う不足が2校・2人です。

全体としては、小中学校33校に36人の欠員です。

小学校では、2人不足している学校が3校もあり、改善は急務です。

## 教職員の確保は急務

### 現場の実態に応え、急ぎ教員確保の対応を!



市も教員の多忙化解消には力を入れてきましたが、解消されず、年休も取れずに長時間勤務を続ける状況が続いています。

欠員のある学校に対しては、今年度より教育活動アシスタントを22校に52人配置していますが、欠員があっても配置されていない学校もあり、足りません。しかも、教育活動アシスタ

ントは資格を問わないために、52人中・教員資格を有しているのはわずか17人です。

根本的対策としては、教職員の増員・確保です。

「時間創造プログラム」2021年度実績が報告された6月議会で上野みえこ議員は、国へも要望し、教職員の増員をすすめるよう求めました。

## 低所得世帯へのエアコン設置・電気代補助等を!

### 「熊本市生活と健康を守る会」のみなさんと一緒に市へ要望

7月19日に要望したのは、生活保護利用者など低所得世帯へのエアコン設置及び電気代補助・夏季加算の実施などです。

物価高騰が困窮する世帯の暮らしを直撃しています。生活保護費では到底エアコン代は捻出できず、猛暑の中で大変な思いをされている実態が語られました。エアコンのある暮らしは、今や当然。熱中症での救急搬送もあり、対応を急ぐべきです。



7月17日号裏面:生活保護の新規申請世帯へのエアコン設置補助の額は(正)58,000円でした。お詫びして訂正します。